

経営情報学部

学部案内

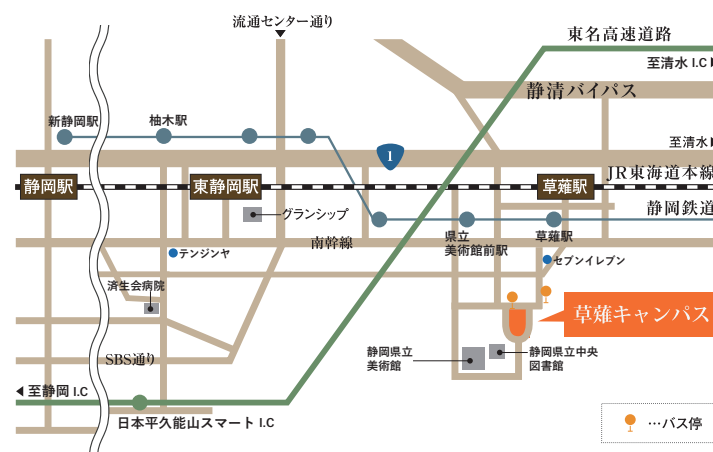

静岡県公立大学法人
静岡県立大学
UNIVERSITY OF SHIZUOKA

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1
TEL 054-264-5102(代表)
054-264-5007(入試室)

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp> (全学)
<https://mi.u-shizuoka-ken.ac.jp> (学部・研究科)



■ ご案内(大学所在地・交通)



静岡までのアクセス(いずれも「新幹線ひかり号」を使用した場合)

- 東京から : 東京 → 静岡 約1時間
- 大阪から : 新大阪 → 静岡 約2時間
- 名古屋から : 名古屋 → 静岡 約1時間



最寄り駅からのアクセス

- 徒歩の場合 : JR「草薙」駅、または静岡鉄道「県立美術館前」駅、同「草薙」駅から 徒歩15分
- バスの場合 : JR「草薙」駅前より、しずてつジャストライン 草薙団地行き(三保草薙線)で、「県立大学入口」下車 約5分
*平日の午前のみ、「県立大学前」下車が可能 下車0分

静岡県立大学

経営情報学部

学部案内

これからの社会を切り拓く人材を育成

経営情報学部では、刻々と変化する現代組織、社会の要望や課題に対して、情報技術を駆使しながら経営資源（人・物・金・情報）を適切に活用する能力を、経営、総合政策、データサイエンス、観光マネジメントの視点から多面的に磨きます。

イノベーションを喚起する
新たなプロフェッショナルの育成

経営情報イノベーション研究科では、社会変革へのニーズに応えるべく、地域に立脚し知の創造とその活用により地域社会に貢献できる人材を育成します。

静岡県立大学の組織構成 多彩な学部構成で、地域に根ざす総合大学



Contents

経営情報学部	01
カリキュラム	03
授業内容の紹介	05
ゼミ紹介	07
資格取得	09
就職実績	11
教員紹介	13
キャンパス紹介	15
オープンキャンパス	16

文系・理系の枠を超えて、経営、総合政策、データサイエンス、観光マネジメントを融合した問題解決力を身につける

経営情報学部

現代社会でイノベーションを担う問題解決型の人材を育成

現在、我が国は、経済・社会のグローバル化、少子高齢化など、国内外からの厳しい環境変化に見舞われ、多くの課題に直面しています。そうした変化に対応して新たな発展をしていくために、現代社会の各分野で、イノベーション(革新)を起こすことが求められています。

本学部は、「経営」「総合政策」「データサイエンス」「観光マネジメント」の4分野の融合と専門性により、社会においてイノベーションを担う問題解決型の人材を育成します。初年次において4分野の基本的知識を得た後で、4つの分野の専門性を磨くことで、1つ以上の専門性を持ちながらも関連分野に精通した人材となることができます。本学部から輩出される人材は、高い就職率に見られるように社会から高く評価されていますが、今後さらに各分野においてイノベーションを担い、活躍することが期待されています。

Message

多様な物事の見方を身に付け、あなたらしさを育成します

その人らしさとは何でしょうか?その人らしさは、独自の価値観のことです。独自の価値観は、特定の集団に帰属することでその集団の価値観を共有し、異なる価値観との摩擦によって形作られます。その人がどのような経験を積み、どのように歩んできたのかという個人の歴史がその人らしさです。

高校生活までは、周囲が作り上げた環境に責任を転嫁することができます。しかし、大学生になれば集団への帰属に選択権を有します。にもかかわらず、その人らしさを集団内に埋没させる人が少なくありません。あなたは、自らの考えで、見たい物を見えていますか?自らが帰属する文系、理系あるいは大学、学部、サークルといったカテゴリーに責任を転嫁していませんか?

1984年にアメリカ合衆国ニューメキシコ州サンタフェにサンタフェ研究所という研究機関が設

立されました。この研究所には物理学、社会学、経済学、情報学、心理学さらには芸術家に至るまで、様々なジャンルの研究者やアーティストが集まっています。そして、現在に至るまで革新的な科学の発信地として広く知られています。多様な物事に対する見方の摩擦が、まったく新しい革新的な物事の見方を生み出しているのです。

多様な物事の見方を体験した人が優れているという訳ではありません。あなたらしさを見つけるためには、あなたとは違う物事の見方を体験し、摩擦を経験しなければならないのです。経営情報学部は経営、総合政策、観光、データサイエンスの4分野があり、まったく異なる物事の見方を体験することができます。個性は単なる可能性に過ぎません。摩擦と出会いを通じて、あなたらしさを育む場所が経営情報学部なのです。

経営情報学部長

六井 淳

プロフィール

信州大学理学部卒(1996)、北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程修了後(1998)、国際電気通信基礎技術研究所の研究員を経て、東京都西新宿にて電子商取引関連のITベンチャー企業の経営に従事。その後、北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程に進学し、統計的機械学習理論を用いた音声認識に関する研究にて博士号(情報科学)を取得(2003)。島根大学総合理工学部に教員として着任し、人工知能関連の研究に従事。2018年より、静岡県立大学経営情報学部に着任。現在は主に、社会的時系列情報の正確な予測を行う機械学習器の設計に興味を持つ。学生達との交流から、新たな研究のヒントを頂いている。



POINT 1 イノベーションを担う課題解決型人材を育成— 全国屈指の就職率

本学部の就職率は、毎年ほぼ100%を達成しており、社会から高い評価を得ています。今後も、民間、公共の各分野においてイノベーションを担う課題解決型の人材を育成することにより、さらに社会に貢献していきます。

POINT 2 文系、理系を超えた幅広い基礎知識を取得

文系、理系の垣根を越えた経営・総合政策・情報・数理の基礎科目と多種多様な全学共通科目により各分野の基本的知識と幅広い知識を身に着けることができます。

POINT 3 スタートアップ演習、基礎科目など、 初年次教育が充実

大学生活に戸惑ったり、苦手な科目があったりしても、スタートアップ演習、基礎科目、基礎演習と、初年次教育が充実していて、安心して学ぶことができます。

POINT 4 経営、総合政策、データサイエンス、 観光マネジメントの専門的知識を習得

知識社会化が進む現代社会では、企業や公的機関において専門的知識がますます求められています。本学部では2年次から経営、総合政策、データサイエンス、観光マネジメントのうち1つ以上の分野について、専門的な科目を重点的に履修します。また、習得した知識は、卒業時にメジャーとして認定されます。

POINT 5 ゼミによる少人数教育と卒業研究で、 理論と実践を学ぶ

3年次からゼミ(1ゼミ当たり学生5~7人程度)に所属し、教員と密接なコミュニケーションを図りながら理論と実践を学んでいきます。そして、学びの集大成として4年次に卒業研究に取り組みます。



■ 経営情報学部

経営情報学部では、「経営」「総合政策」「データサイエンス」「観光マネジメント」の4分野の融合と専門性により、現代社会の各分野でイノベーションを担う問題解決型の人材を育成するため、次のような学生を求めています。

■ 経営情報学部の求める学生像

1. 「経営」「総合政策」「データサイエンス」「観光マネジメント」のいずれかの分野に関心をもち、専門的な知識と能力を身につけたい人
2. 一つの分野以外にも興味をもち、融合して活用する能力を身につけたい人
3. 与えられた問題を解くだけでなく、自ら問題を発見し、どう解決するか、どのように役立てていくかを考える能力を身につけたい人
4. 企業経営・公共経営・観光経営などに高い関心をもつ文系志向の人、または、データサイエンスに興味をもち、数学や自然科学などの学力のある理系志向の人
5. 「経営」「総合政策」「データサイエンス」「観光マネジメント」の4つの分野の基本的知識とコミュニケーション能力を身につけた社会人を目指す人

DATA BOX (2025年度)

- 入学定員125名
- 入学者の構成(2025年度)
 - 県内88名 県外43名
 - 男子58名 女子73名
 - 県大生の5名に1名が経情生
- 教員数
 - 教授13名 ● 准教授8名
 - 講師4名 ● 助教3名
 - 計28名
 - 教員1名当たり学生数4人

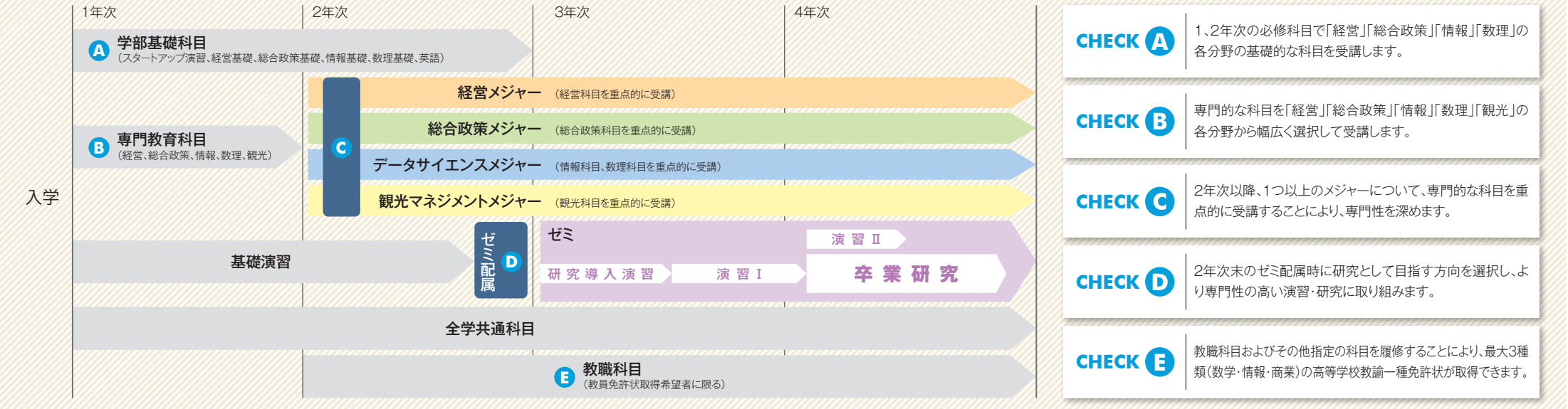
カリキュラム

自らの資質や進路を段階的に明確化し、
将来につながる実力を身につける

本学部では、1・2年次において「経営」「総合政策」「情報」「数理」の各分野の基礎的な科目を幅広く履修します。そして、2年次から「経営」「総合政策」「データサイエンス」「観光マネジメント」の中から1つ以上のメジャー認定を目指して科目を履修し、専門性を高めていきます。2年次末のゼミ配属を通じて、改めて自らの専門分野を明確にしていきます。3年次以降は各自の希望進路や卒業研究のテーマに合わせて専門性の高い科目を履修します。4年次には、ゼミにおける卒業研究の成果を論文としてまとめます。卒業論文の執筆は、大学生活における学びの総決算といえます。



経営情報学部概略チャート



授業科目の一覧

	学部基礎科目	専門教育科目										教職科目	全学共通科目				
		経営科目	総合政策科目	情報科目	数理科目	観光科目	複合科目	英語科目	演習科目	自由選択科目	演習・卒業研究		第1部門	第2部門	第3部門	総合科目	身体運動科学
1年次	基礎経営学 会計学総論 基礎統計学Ⅰ 経営工学 観光学概論 基礎経済学 行財政学概論 情報処理概論 情報処理演習 情報リテラシⅠ 情報リテラシⅡ 基礎英語Ⅰ,Ⅱ 英語会話Ⅰ,Ⅱ 簿記論 スタートアップ演習	企業論 経営史 マーケティングⅠ 国際経営論 社会会計 原価計算論		情報科学概論	微分と積分 行列とベクトル 基礎統計学Ⅱ 離散数学			海外英語研修A,B,C,D	基礎演習Ⅰ,Ⅱ				数Ⅰ・データサイエンスⅠ入門 ドイツ語入門 フランス語入門 スペイン語入門 中国語入門 日本語作文A 日本語作文B 中級日本語A 中級日本語B ヒューマン・ケア	自然科学概論 化学入門 生物学入門 薬剤発達史入門 物理学入門 環境科学入門 哲学入門 社会思想史入門 歴史学入門 宗教学入門 社会学入門 国際関係学入門 文化人類学入門 公共政策入門 心理学入門 生涯発達心理入門 知的財産管理入門	くらしと化学A,B 基礎生命科学Ⅰ,Ⅱ 現代日本文化入門A,B 経営分析入門A,B 英語で学ぶ日本語学ⅠA,Ⅱ,ⅢA,ⅢB 言語の学習・習得ⅠA,Ⅱ,ⅢA,ⅢB 静岡の健康長寿を支える取り組みと人々 静岡の防災と医療 静岡地域食材学A,B 茶学入門 ムセイオン静岡・MUSEUMと文化A,B ムセイオン静岡・世界の文化遺産A,B ムセイオン静岡・舞台芸術A,B 歴史からみるしずおか学 国際安全保障入門Ⅱ 静岡の市民活動 新聞でもっと静岡を知ろう 企業経営者に学ぶ静岡のビジネス最前線 実用科学英語基礎編 実用科学英語応用編 SDGs概論 ふじのくにガストロミーツーリズム 食を愛する静岡 静岡「知」各論 一食環境科学と地域企業の視点からー社会を変える手法:コミュニティ・オーガナジング 静岡ゲームチャリティー実践	キャリアデザイン概論 キャリアと社会 ジャーナリズム論 ふじのくに学(お茶) ふじのくに学(伊豆の温泉と産業おこし) ふじのくに学(演劇論) ふじのくに学(観光学) ふじのくに学(森林生態系からの恵み) ふじのくに学(静岡県の産業イノベーション) ふじのくに学(静岡県の産業イノベーションⅡ) ふじのくに学(静岡県西部地域の特性と産業) ふじのくに学(南アルプスの自然) ふじのくに学(農林業) ふじのくに学(富士山学概論) ふじのくに学(健康イノベーション教育プログラム) 高野山で学ぶキャリアとわたし 人権を支える社会 世界からしずおかを見る しずおかから世界へ 男女共同参画社会とジェンダー	身体運動科学A,B
2年次	経営情報システム概論 総合政策概論 プログラミング 英語講読Ⅰ,Ⅱ 検定英語Ⅰ,Ⅱ	人的資源管理論 国際人的資源管理論 商業論 組織行動論 経営戦略論 マーケティングⅡ 広告論 財務会計論 経営分析 消費者行動論 経営組織論	公共政策論 ミシロ経済学 地域産業論 財政学 保健医療システム論 社会保障政策論 マクロ経済学	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ データベース 情報理論 画像処理と認識 情報システム開発論 情報セキュリティ 人工知能 情報ネットワーク	経営数学 確率論 時系列分析 情報数学 数理工学 基礎統計学演習	観光産業論 観光経営人材論 観光マネジメント 国際観光論 観光政策論 観光経済学 観光まちづくり論	経営情報総合A,B,C,D,E,F 経営情報特別講義A,B,C,D,E,F,G,H,I,J,K,N 経営情報イノベーション特別講義 A,B		基礎演習Ⅲ,Ⅳ	他学部開講科目(8単位以内) 他大学等開講科目(12単位以内:静岡大学人文社会科学部・教育学部)		教師論 教育原理A,B 教育心理学 教育方法 教育における情報通信技術の活用					
3年次		国際比較経営論 起業家論 コーポレート・コミュニケーション 技術経営論 管理会計論 税務会計論 経営財務論 職業指導論 経営統計調査法 ベンチャービジネス論 多国種企業論 監査論 ビジネス実践	応用経済学 計量経済学 地域経済学 医療介護マネジメント論 公共経済学 地域福祉マネジメント論 現代金融論 医療介護政策論 行政学 法律学概論 地方財政論 地方自治論 日本国憲法 民法各論 ビジネスロー	オブジェクト指向プログラミング アルゴリズムとデータ構造Ⅱ 経営情報システム探求 Webシステム開発論 メディア処理論 シミュレーション テキストマイニング データサイエンス実習 情報社会と情報倫理 情報工学実習	数理統計学 多変量解析 代数学応用 幾何学応用 解析学応用 機械学習	地方創生論 異文化コミュニケーション 観光人類学 観光情報システム 観光調査法			研究融合演習Ⅰ,Ⅱ		研究導入演習 演習Ⅰ	教育課程・特別活動論 数学科教育法Ⅰ,Ⅱ 情報科教育法Ⅰ,Ⅱ 商業科教育法Ⅰ,Ⅱ 教育社会学 生活指導・進路指導論 学校カウンセリング 特別支援教育 総合学習の指導法					
4年次											演習Ⅱ 卒業研究	教育実習Ⅰ,Ⅱ 教職実践演習(高)					

(2025年度入学生実績)

授業内容の紹介

経営、政策、情報、数理、観光にまたがる幅広い科目群

本学部では、伝統的な学問分野の壁に縛られない多様な科目群を

提供しています。授業の一部を覗いてみましょう。

Pick up
1

マーケティングI・II

マーケティングの理論と実践を学び、顧客創造の基礎力を身に付ける。

マーケティングとは、一言でいうと「顧客を生み出すための活動」です。お客様がいなければ、企業や組織は生きていくことができません。では、企業などが顧客を生み出すためのポイントは何でしょうか？

この講義では、多様化する現代のマーケティングを体系的に理解し、マーケティング分野で生じる問題発見や戦略策定のために不可欠な知識と能力を高め、顧客創

造の基礎力を身に付けることを目標としています。授業では、マーケティング理論のみならず、応用例や現実の市場で生じているケースもとりあげ、理論と実践のバランスに配慮した双方向型の講義を行います。理論を単に覚えるだけではなく、理論を使って自ら考え、課題を掘り下げ、マーケティングの実践力を高めていく。これが本講義の醍醐味です。



Pick up
2

総合政策概論

政策の基礎について具体的事例を見ながら学ぶ。

グローバル化、少子高齢化が進展する中で、国家レベルでも地方レベルでも政策の意義はますます重要になりつつあります。この講義では、政策の概念、政策課題の設定、企画・立案、過程などの基礎知識を、社会基盤整備についての政策策定、地域産業政策、新経済・財政再生計画、育児支援政策、介護保険制度などを取り上げながら学びます。

さらに、国と地方自治体の役割、行政への住民参加、サードセクターなどについての基礎的な議論を行います。また、国、県、市町などの第一線で活躍する政策マンに行政活動の実態について講義をしていただきます。これらの講義を通じて、政策の概念について総合的に理解することを目的とします。



Pick up
3

情報リテラシI・II

すべての分野に必要とされるリテラシの基礎を学ぶ。

情報リテラシI・IIの「リテラシ(literacy)」とは、「読み書き能力」のことを意味します。パソコンやインターネットを自在に活用して必要な情報を効率的に収集し、また自ら発信する能力を様々な演習を通じて養います。入学後初めてのパソコンを使った講義ですが、ただ単にパソコ

ンの使い方を習得するためだけの内容ではありません。レポートの書き方、効果的なWeb検索、電子メールの活用、表計算によるデータの統計処理、プレゼンテーション、Webによる情報発信などについて、1年間を通じて基礎的な力が身に付くカリキュラムを用意しています。



Pick up
4

観光学概論

観光学の基礎を多面的に学び、広く観光を担える人材を育成する。

人口減少、少子高齢化が進むわが国において、「観光」は今後一段の成長が見込める分野です。今の「観光」は、外国人観光客の増加もあり、「いかに観光客を呼び込み、お金を落としてもらうか」に向けた知恵比べが求められています。この授業は、観光学の入門編として位置づけ「データサイエンス」、「経営」、「総合政策」といった理系と文系を融合させた視点から「観光」を捉え、観光学の

基礎を多面的に習得することを目標としています。あわせて自ら観光地に出向きフィールドワークを行ったうえで、自ら課題を考え、洗い出し、ソリューションを検討したうえで、それを全員の前で発表するというプロセスを学び、問題解決力やプレゼンテーション能力の向上を高めていくなど、実践的な授業を展開していきます。



Voice

先輩達のリアルな声を聞いてみよう！

1年は基礎を固める！



小林 克嘉さん

私は小さい時からゲームが好きでした。ゲームボーイから始まり、多くのゲームに触れてきて次第にプログラミングについて興味を持つようになりました。進路の決定にあたり、プログラミングに関する勉強をしたかった事、そして、流行り始めていた人工知能について学びたかった事を念頭に調べた末、静岡県立大学経営情報学部を見つけました。

1年の前期では、基礎を固めることから始まりま

す。ミクロ経済や経営ガバナンスなど身近で聞いた事のある内容を理解し、2年、3年の講義へと繋がっていきます。情報の分野では、ExcelやWordの使い方、情報に関する知識を深めていきます。1年は必修の授業が多く、履修科目の選択にあまり自由がありません。ですが、確実に単位を取る事で最終的に、自分の好きな分野を学ぶことができます。また授業を通して、簿記やITパスポートといった資格の勉強や、教員の免許を取得できます。今後やりたいことが明確な人はもちろん、まだ将来が決まってない人も、4年間を通して自分の夢が見つけれられると思います。

最後に、この学部には理系と文系が混在しています。経営は文系、情報は理系という偏見があるかもしれませんがそんなことはありません。誰でも自分の好きな分野を学ぶことが出来るため、非常に自由な学部です。

1年前期の時間割例					
	月	火	水	木	金
1限	法律学概論			社会思想入門	
2限	基礎英語I	スタートアップ演習	基礎経営学	簿記論	基礎経済学
3限	基礎演習I	簿記論	基礎数学I	基礎統計学I	英語会話I
4限		情報リテラシI	情報処理演習		
5限					

通学時間も学びの機会に! 好きなことを学んで成長できる学部



飯塚 遥さん

伊豆に住んでいるので、通学に2時間かかります。その間に、課題のレポートを書いたり、本を読んだりしています。電車の中では、課題に集中でき、家や学校でやるよりも効率がいいかもしれません。読書については、大学生になってから本を本格的に読み始めて、2年間で約100冊読み終えました。電車で通学を予定している人は、自分を楽しみを見つけると、通学時間が充実すると思います。

この学部は、受講するのに抽選がないので基本的に自分の好きな科目を選択できることが魅力的だと思います。私は、経営と観光の科目を中心に履修していて、どの授業も面白いものばかりです。自分の興味のある授業を見つけるには、授業のタイトルだけで判断しないで、シラバスの内容を読むのが1番だと思います。県大に入学する前でもシラバスが見られるようになっていたので、面白そうな授業を見つけてみてください。

私は、観光系の基礎演習を1年生から履修しています。2年生の基礎演習では、菊川市と協働でサイクリングマップを作成するというプロジェクトに取り組みました。人数は、年にもよりますが、今年は6人で活動していたため、アットホームな雰囲気を楽しみながら活動していました。加えて、活動を通じて学ぶことが多く、学部の授業の中で1番履修してよかったと思う科目です。基礎演習は、座学だけでなく、ゼミに入る前からプロジェクトをしてみたい、積極的に行動してみたいという気持ちがある人におすすめです。

2年前期の時間割例					
	月	火	水	木	金
1限					
2限	マーケティングII	検定英語I	観光政策論	財務会計論	
3限	地域産業論		経営情報システム概論	経営数学	
4限	経営組織論	保健医療システム論	観光産業論	英語読読I	
5限	プログラミング	総合政策概論II	観光まちづくり論		情報ネットワーク

教職課程の仲間に刺激をもらい、楽しく取り組んでいます



小林 沙彩さん

経営情報学部では、高等学校の数学・情報・商業の3教科の教職課程があり、私は情報の教員免許の取得を目指しています。経営情報学部の講義に加えて、教職課程の講義を受講するため、忙しいと感じるときもありますが、自分と同じように教職課程を履修する仲間がいることで、刺激をもらいながら、楽しく取り組んでいます。

私は、経営情報学部の4つのメジャーのうち、経営とデータサイエンスメジャーの2つの取得を目指しています。情報の教職課程で受講する講義は、データサイエンスメジャー取得に必要な講義と重なっているものが多いため、一石二鳥だと考えています。また情報に限らず、他の教科の教職課程も、メジャーが取りやすくなると思います。さらに私は、講義で学んだ知識を活か

して、ITパスポートという資格を取得しました。教職課程を通じて得た力は、自然と他の分野においても役立つため、卒業後教員になるかどうかに関わらず、教職課程への挑戦をおすすめしたいです。

また、始めは自分が授業を行うことに不安がありました。しかし講義内で、黒板を使用した授業に加え、パソコン実習やZoomによる遠隔の模擬授業を行っており、先生方に丁寧にサポートしていただいているため、安心して取り組んでほしいです。

経営情報学部は、1、2年生の必修科目で幅広い分野を学び、3年生からのゼミ活動を少人数で行っています。そのため専門性を深められる特徴を持っており、充実した学生生活を過ごせると 생각합니다。

3年前期の時間割例					
	月	火	水	木	金
1限	生徒指導・進路指導論		情報科教育法I		総合学習の指導法
2限			ビジネスロー		経営財務論
3限	メディア処理論		ビジネスロー		シミュレーション
4限	メディア処理論			ゼミ	情報と産業
5限			オブジェクト指向プログラミング		情報と産業

3年後期の時間割例					
	月	火	水	木	金
1限	学校カウンセリング		経営情報システム探究	情報科教育法II	
2限				教育課程・特別活動論	コーポレート・コミュニケーション
3限		情報工学実習			Webシステム開発演習
4限		情報工学実習		特別支援教育	ゼミ
5限					教育社会学

ゼミ紹介

徹底した少人数教育で、主体性を持って学べる環境

本学部では、第一線で活躍する教員による少人数教育を徹底しており、大人数・知識詰め
ゼミナールでは、教員1名あたり学生4人(1学年125名に対して教員31名)という贅沢な

込み型の授業に終始することは決してありません。
環境で、充実した個別指導を受けることができます。

落合ゼミ



嶋野 涼さん

落合ゼミでは主に企業の経営戦略や事業継承について学ぶゼミです

活動としてはゼミ内で使用する教材をもとにグループ
ごとにパワーポイントを作成し、ディスカッションを行います。教材の内容が身につくことはもちろん、資料作成や
ディベートの仕方など社会人になってから必要なノウハウや能力を落合先生が養ってくださいます。
また3年時の冬季にはインゼミが開催されています。青山学院大学山下ゼミ、法政大学稲垣ゼミ、静岡県立大学落合ゼミの3大学が集まりそれぞれのゼミで行った研究を発表します。約半年間の時間をかけてインタビュー調査やアンケート調査などを行うため少し大変に感じる時もありますが充実感を持って研究を行うことができます。各大学研究している内容は異なるため、普段のゼミ

とは異なる知識を身につけることができます。また東京という静岡から離れた地で学ぶ学生との交流は、私たちに
とって非常に刺激的で有意義な時間となります。
加えて、ゼミ以外の時間でも懇親会やゼミ合宿といったゼミ内での仲を深める事ができます。就活や卒業論文を作成する際には、落合先生やゼミの仲間と協力し励まし合いながら取り組むことができました。
このような活動を通して私たちのゼミでは経営戦略や事業継承といった学問を深めるだけでなく、落合先生の豊富な経験からビジネスに対する知識や社会人に必要なスキル、お金の仕組みなどこれからの人生で必ず必要となることを学ぶことができます。



落合ゼミでは、企業の競争戦略やビジネスモデルについて研究しています。文献調査だけではなく、実際のフィールド調査を重視しています。他大学との対抗ゼミやゼミコンという共同活動を通じて、一生のつながりを作っています。

落合 康裕 教授



藤本ゼミ



森下 稜太さん

社会保障分野についてグループワークを通して学んでいます

藤本ゼミでは、年金や介護問題などといった、社会保障分野について研究を行っています。
具体的な活動内容としては、毎週、社会保障に関する話題を1つ取り上げ、その内容について理解しグループディスカッションを行っています。話題の取り上げ方としては、先生が用意してくれたビデオを視聴したり、ゼミ生が資料を作成して発表を行ったりしています。
また、活動の1つに静岡大学との合同ゼミがあります。3年生中心で、テーマを決め、各ゼミ同士が報告し、その内容についてグループディスカッションを行います。報告内容も様々で、普段関わることのない学生との会話を通じて、非常にいい刺激を受けることができるのが魅力の1つとしてお思います。更にこの準備、本番を迎えるにあたってゼミ生同士の仲も深まります。不安な点があったときは前年、合同ゼミを体験した先輩や藤本先生に気軽に相談できるので、安心して取り組むことができます。

社会保障分野は私たちにとても身近な分野であるので、ゼミでの活動を通して自身の将来と結びつけることができ、関心をもって研究することができます。また、ゼミ生は先輩後輩関係なく仲が良いので、毎回のグループディスカッションは和やかな雰囲気です。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、近年は合宿やゼミのゲスト(社会保障政策の担当者など)との食事をすることができていませんが、また以前のように交流の機会が増えることを私たちも願っています。
ゼミを通して多くの人に出会い、様々な人の考えに触れることで、大学生生活をより充実させて過ごすことができると考えています!



藤本ゼミでは、少子化や感染症、年金や介護などの社会保障に関する政策課題を中心として、ときには地球温暖化など幅広い政策課題も取り上げ、教員の厚生労働省や在ドイツ日本大使館における勤務時の経験談も交えて、毎週グループディスカッションをしています。人口減少問題など社会の直面する課題について、一緒に議論してみませんか?

藤本 健太郎 教授



湯瀬ゼミ

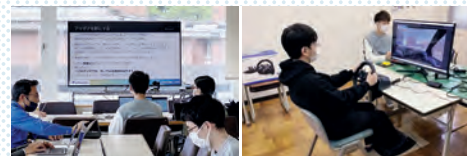


堀池 洋希さん

ICTの活用について研究しています

マルチメディア研究室ではICTの活用方法について研究しています。ICTとはコンピューターやインターネットを使って情報をやり取りする技術のことで、みなさんが普段使っているSNSもこれに該当します。私たちはこのICTを教育や防災、観光などの分野で役立てるための方法を研究しています。これまでも画像認識技術を用いた農作物の識別システムや静岡市の観光を促進するためのアプリなど、様々なテーマでゼミ生が研究を行ってきました。ICTが関わることのできる分野は本当に幅が広く、私は研究の自由度の高さに惹かれてこのゼミを選びました。

ゼミ配属が決まったら、まずはICTに関連した研究論文を読んで専門的な知識を身に付けていきます。どんな論文を読むかはゼミ生の自由なので、様々な論文を読んで興味のある分野を探していくと良いと思います。その他にもプログラミングコンテストやICTを活用した観光促進プロジェクトへの参加などを通してICT活用に対して理解を深めることができます。私は現在、ドライブシミュレーターの開発と運転データの分析を行っています。知識不足で苦労することも多々ありますが、経験豊富な先生のご指導のもと自由に研究することができています。



湯瀬ゼミ(マルチメディア研究室)では、ICTを人の役に立つように活用するための研究を、HOC(Human Centered Computing)を合い言葉に行っています。特に、教育分野、防災分野、福祉分野、観光分野でのICT活用の研究に力を入れています。学内のゼミ生とだけでなく、学外とのつながりも持ちながら研究を進めています。

湯瀬 裕昭 教授



アムナーゼミ



新保 遼平さん

地域と海外をつなぐ観光ゼミで国際交流しています

私たちアムナーゼミでは、これまで二つの国際的な研究プロジェクトを行いました。一つ目は2021年度から2022年度までのトヨタ財団国際助成プログラムで、静岡県梅ヶ島的美食茶観光情報資料として英語版と日本語版の観光ガイドブックや茶料理レシピ本などを作成しました。実際に梅ヶ島へフィールドワークとして訪れ、観光資源の豊かさや地域の人々の温かさなどの魅力を実感するとともに、観光戦略や観光計画に関する経験を得ました。二つ目は2022年世界お茶祭り、タイのメー

ファールアン大学との共同プロジェクトとして、大学構内における言語景観について英語でオンラインインタビューを行いました。国際的な研究に関わるという貴重な経験を得たと感じています。
アムナーゼミはフィールドワークを通して地域の人々や海外大学の先生・学生と交流することで新しい知見を多く得ることができるゼミです。私たちは地域と海外をつなぐ観光に関心を持ち、地方のフィールドワーク調査に積極的に関わるよう日々ゼミ活動に励んでいます。



アムナーゼミでは地域観光を発展させるために地域と世界をつなぐグローバルな能力スキルが求められます。地域観光に貢献するための調査をおこない、また国際的な活動による英語力アップを目指したゼミです。観光戦略や観光計画をもとに、国際観光や地域観光に関する研究をおこないます。

カウクルアムアン アムナー 准教授



先輩達の卒業論文(2024年度から一部抜粋)

ゼミにおける研究活動の成果を、卒業論文として残すことができます。

【経営分野】

- ◆ 若者の伝統的なジェンダー役割態度が昇進意欲に与える影響
- ◆ 高齢化社会に向けた公立病院の経営改善に関する研究
- ◆ 応援消費による被災地の復興マーケティング
- ◆ “非広告型広告”による広告戦略
—ファストフード業界における効果的な表現要素—

【総合政策分野】

- ◆ マイナンバーカードの携行率向上のための政策について
- ◆ 静岡県における第三者継承による農業の後継者不足解消に関する考察
- ◆ 男性の育児休業取得率向上による出生率の改善
- ◆ 静岡県山間部における防災DXの普及に関する研究

【データサイエンス分野】

- ◆ 紹介文が書籍の売上予測に与える影響の分析とその考察
- ◆ 敵対的生成ネットワークを使用した城の画像生成
- ◆ インバウンドを対象としたアンケートデータの居住エリア別傾向分析
- ◆ 大学生のキャッシュレス決済の利用状況に関する調査及び考察

【観光分野】

- ◆ 外国人に向けた日本茶体験キットの開発
- ◆ 牧之原市における文化財の観光活用に向けた現状と課題
- ◆ 静岡市人宿町のリノベーションによる観光地域活性化の比較研究

資格取得

資格に強い経営情報学部

本学部では、科目を履修することで取得できる資格と、資格試験等を想定した科目が用意

されています。その他にも学びを活かしてチャレンジできる、幅広い分野の資格を取得する道が開かれています。

領 域	資 格 名	学 部 の 取 り 組 み
経 営	中小企業診断士、公認会計士、 ファイナンシャルプランナー 等 (ファイナンシャル・プランニング技能士)	中小企業診断士の試験では経営学、会計学、経済学、経営情報システムなどの幅広い知識が問われます。本学部ではそれらの多くを講義で学ぶことができます。第二次試験(論文試験)にも実践的な講義と小人数の卒業論文指導が効果的です。 公認会計士の試験では会計学を中心として、経営学、経済学、法学、統計などの高度な知識が問われます。本学部は簿記・会計学習をサポートするサークル活動に対して支援を行っています。 ファイナンシャル・プランニング技能士の試験では税金、社会保険、年金、投資などの幅広い知識が問われます。本学部では税務会計論、経営財務論、社会保障論など通常の講義に加えて、損害保険や地域金融機関の実務家による実践的な講義まで幅広く開講しています。
総合政策	地方公務員、国税専門官、 労働基準監督官、警察 等	総合政策概論I、IIにおいて政策論の基礎を学んだ後、具体的な政策論について公共政策論、公共健康政策論、社会保障政策論などの科目の履修を通じて学べるようになっています。また、法学概論や経済学関連科目を提供しているため、公務員試験対策にもつながります。さらに本学部では、公務員出身の実務家教員も複数在籍しており、公務員になった先輩の体験談を聞く会、公務員希望者による勉強会などの活動も行われています。
情 報	ITパスポート試験、 基本情報技術者試験 等	ITパスポート試験は、単にITシステムの開発者や利用者だけでなく、現代の職業人として備えておくべき基本的知識を問うものであり、経営、管理、情報技術の3分野を出題範囲とします。基本情報システム技術者試験は、情報技術全般に関する基本的な知識を有し、将来プログラムの設計開発を行う者を対象とし、情報技術全般に関する理解に加えて、プログラムの設計開発に関する知識を問うものです。どちらの試験に必要な知識も、経営情報学部の講義で多くを学ぶことができます。また、試験に向けての各種支援を実施しています。
教 職	高等学校教諭一種免許状 「数学」「情報」「商業」	所定の科目を履修することにより、3種類の高等学校教諭一種免許状が取得できます。本学部は従来から「経営」「総合政策」「データサイエンス」「観光マネジメント」の各分野を組み合わせた教育を理念として掲げており、これに対応して「数学」「情報」「商業」の免許状が取得できます。この3種類の免許状を一度に取得できるのは、全国でも極めてまれです。
外国語	TOEIC、 その他英語関連資格	本学部のすべての英語科目はTOEIC対策を想定しており、最終的には700点を目指します。TOEIC以外にも、「外書購読」では経営や経済、会計に関する洋書の輪読や関連資料のリスニングを行うことにより、英語資料を理解する実践的な能力を身につけます。また、「海外英語研修A～C」では、実際にアメリカやイギリスの協定大学等において1ヶ月程度の研修を行う事により、英語圏の文化の理解を深め、英語コミュニケーション能力の実質的な向上を図ります。実践的な英語能力が身に付くこれらの科目により、各種の英語関連資格の取得も期待できます。

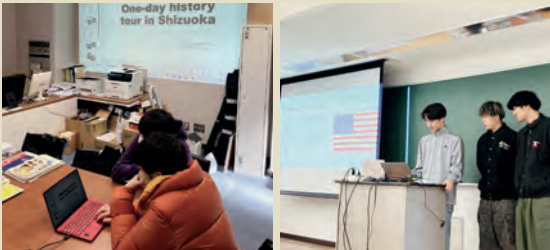
Pic up 1 ITパスポート

ITパスポート試験は情報処理推進機構が実施する国家試験であり、ITシステムの開発者や利用者だけでなく、職業人として備えておくべき基本的知識を問うものです。出題範囲はいわゆる情報技術であるテクノロジ系(基礎論理、コンピュータシステム、技術要素)にとどまらず、ストラテジ系(企業と法務、経営戦略、システム戦略)、マネジメント系(ソフトウェア開発の流れ、プロジェクトマネジメント)から出題されます。出題内容は本学部で学ぶ内容の集大成であると言えます。本学部の講義を受講すれば、ITパスポートの試験の出題範囲を広くカバーできます。また、社会的に認められている資格であり、就職の際に資格の有無を考慮する企業も数多くあります。また、試験対策やテキスト貸与などの支援を行っています。



Pic up 2 TOEIC

TOEICは、リスニングとリーディングで構成されている国際コミュニケーションのための英語能力テストです。TOEICで高得点を取ることは、就職活動で有利になるだけでなく、就職後のキャリアアップにも欠かせません。本学部は、静岡県立大学言語コミュニケーション研究センターと協力して英語科目を実施しています。カリキュラムはTOEIC受験対策を想定しており、すべての英語授業はTOEICのスコアを伸ばすことを目標としています。1年次の習熟度別クラス編成や、学年ごとのTOEICの団体受験(TOEIC IPテスト)などにより、着実に得点の向上が果たされます。最終的に、3年次に開講される上級検定英語では、リスニングとリーディングを総合的に強化しながら、英語を使う仕事で不自由しないレベルを目指し、TOEICスコアの目標を700に置いています。



簿記・公認会計士

組織の活動には多くの場合「お金」の出入りが伴います。その記録方法・知識を簿記といい、会計学の基礎となります。この簿記・会計情報は経営における重要な情報の一つであり、本学部においても簿記は学部基礎科目(必修科目)に位置付けられています。本学部生は入学後直ぐの日商簿記検定3級に挑戦し、その多くが合格しています。その他にも、日商簿検定1・2級や公認会計士試験に挑戦し、それらに合格する学生も輩出しています。

私は自分が興味関心のある分野を探すために経営情報学部に入りました。この学部では経営や社会に関する多様な講義があるため学びたいと思う分野はすぐに見つかりましたが、今度は興味関心のある分野が広がりがすぎてしまいました。そこで活動の幅が広く働きながら様々なことを学べる公認会計士を志しました。



杉島 勇裕さん

資格取得までの軌跡

1 会計への興味のきっかけ

1年次では「簿記論」で日商簿記3級を取得するとともに会計分野に興味を持ちました。そして「基礎演習1」で監査法人ヘインターンシップに行くなど会計分野への知見を深めるために様々なことへ挑戦しました。その後「会社会計」で学んだ知識を活かして日商簿記2級を取得しました。この頃、公認会計士試験合格者の先輩や会計分野の先生のご助言もあり、公認会計士試験に挑むことを決意しました。

2 試験勉強開始

2年次ではダブルスクールの形式で公認会計士試験の勉強を開始しました。大学では「財務会計論」等、試験科目と内容の被る講義を積極的に受講するとともに、プログラミング等の自分が興味のある分野の講義も積極的に受講していました。そのため飽きることなく勉強を続けられたと思います。また11月には日商簿記1級に合格しました。

3 公認会計士試験合格

3年次では大学の図書館を積極的に利用し、夜遅くまで勉強しました。また「税務会計論」や「管理会計論」、「監査論」といった試験科目に関わる講義を受講出来るようになり、重要な基礎を固めることが出来ました。その甲斐あって8月の短答式試験では好成績で合格することが出来ました。4年次では勉強しない日を作らないように努力しました。合格出来なかった場合の不安から精神的に辛い日々が続きましたが、ゼミの先生や予備校の先生に助けられ、8月の論文式試験に好成績で合格することが出来ました。

資格試験

資格取得!
日商簿記1級
公認会計士

公務員

公務員とは、国や地方自治体の公務に従事する職員です。公務員の職務は国民、住民から負託されたものであり、政策に関する専門性を必要とします。公務員になるためには、原則として公務員試験に合格しなければなりません。本学部では、地方公務員を中心に毎年数名の公務員を輩出しています。

私は大学入学前から公務員の仕事に興味を持っていました。そのなかでゼミ活動を通してマーケティングを学び、地域経済に携わった経験がきっかけとなり、生まれ育った静岡県の更なる発展に貢献したいという思いが強くなりました。そこで、様々な分野から県を支えることのできる静岡県職員になりたいと考えようになりました。



瀬戸尾 実祐さん

合格までの軌跡

1 幅広い分野の教養の習得と課外活動

1、2年次は、学部基礎科目の受講を通して幅広い知識を身に付けました。公務員は、多岐にわたる分野で総合的な能力が求められます。学部基礎科目のおかげで、自分に合った苦手意識を持つ分野にも取り組む機会を得ることができました。また、新たに興味のある分野を発見する機会にもなりました。

2 専門分野の知識習得

2、3年次は、興味のある分野の科目を中心に履修し、専門的な知識を身に付けました。私は「経営」と「総合政策」に関心があつたため、それらのメジャー認定を目標に講義を受講しました。講義を通じて、企業や国、市町村が抱える課題に向き合い、その解決策を考えた経験は、公務員試験にも役立ちました。

3 ゼミ活動で論理的思考力を鍛える

3、4年次は、最も関心のあったマーケティングを専攻するゼミに所属し、個店や農業法人へのコンサルティング事業をはじめ、多様な実践活動を地域経済に携わりました。ゼミではグループワークが多く、社会人として求められる協調性を磨くことができました。また、活動のなかで打ち合わせや、プレゼンを繰り返し経験したことで、相手に自分の考えを分かりやすく伝える能力が身に付き、個人面接でも活かすことができました。

採用試験

合格!
静岡県職員
採用試験

就職実績

高い就職決定率

本学部卒業生は大学で学んだ専門性を活かし、幅広い分野で活躍しています。

2025年3月卒業者の就職状況

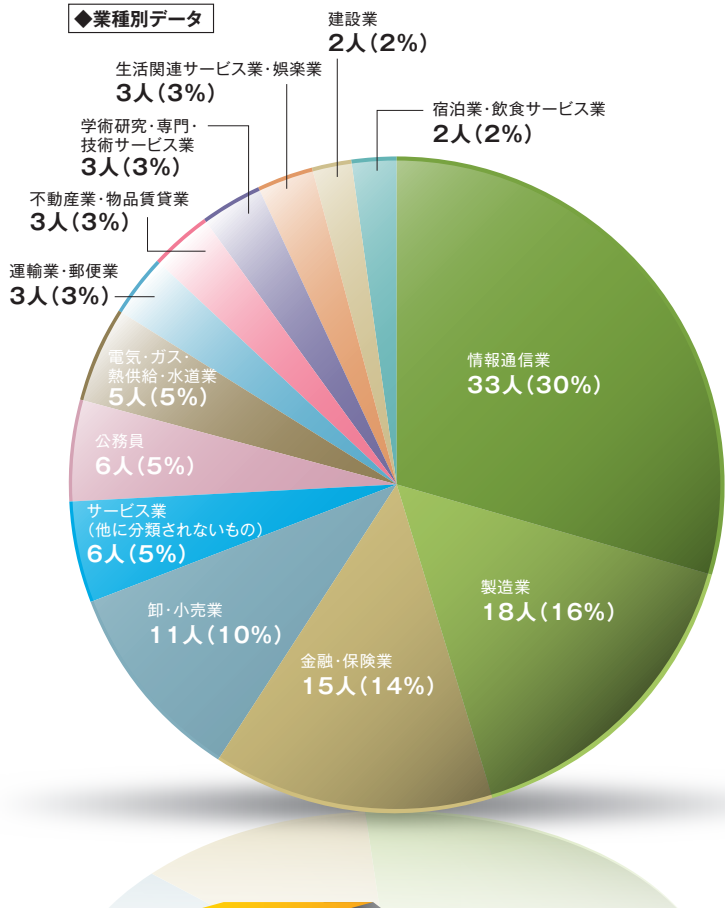
就職決定率 98%

経営情報学部の卒業生は、それぞれの専門性を生かし、各分野で幅広く活躍しています。2025年3月卒業生では、就職決定率98%を達成しています。本学部の就職状況を業種別に見ると、2025年3月の実績では、金融関連と情報・通信業の就職者数が多いことが特徴です。これは、経営・会計はもちろん情報処理にも強い本学部の特徴と言えます。

◆概況データ

区 分	人 数
卒業者数	120
就職希望者数	112
就職決定者数	110
大学院進学者数	7
その他	1

◆業種別データ



卒業生の主な就職先(過去3年間)

業 種	就 職 先
建 設 業	セキスイハイム東海(株)、須山建設(株) その他
製 造 業	(株)Mizkan Holdings、(株)アイエイアイ、アイリスオーヤマ(株)、オークマ(株)、(株)クラブ、ジヤトコ(株)、スズキ(株)、デサントジャパン(株)、テルモ(株)、(株)デンソーテクノ(株)、トヨタバッテリー(株)、トヨタ紡織(株)、パーパス(株)、ファイザーR&D合同会社、ヤマハ(株)、ヤマハ発動機(株)、ローランドディージー(株)、(株)井田コーポレーション、(株)小糸製作所、東レ(株)、富士通(株)、富士通クライアントコンピューティング(株)、矢崎総業(株) その他
電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	中部電力(株)、中部電力ミライズ(株)、(株)TOKAIホールディングス、サーラエナジー(株) その他
情 報 通 信 業	(株)DTS、NEC静岡ビジネス(株)、NECプラットフォームズ(株)、(株)NTTデータアイ、NTTデータ先端技術(株)、(株)SBS情報システム、(株)TOKAIコミュニケーションズ、(株)エイチーム、キッセイコムテック(株)、(株)サーラビジネスソリューションズ、(株)サンロフト、(株)テクノサイト、トーテックアメニティ(株)、(株)トヨタシステムズ、ニッセイ情報テクノロジー(株)、パーソルクロステクノロジー(株)、(株)マイナビ、ヤマハモーターソリューション(株)、(株)建設システム、静岡ITソリューション(株)、鈴与システムテクノロジー(株)、住友電工情報システム(株)、(株)豊通シスコム、農中情報システム(株)、富士通ネットワークソリューションズ(株)、三菱UFJトラストシステム(株)、三菱電機ソフトウェア(株)、明電システムソリューション(株) その他
運 輸 業 ・ 郵 便 業	遠州鉄道(株)、静岡鉄道(株)、鈴与(株)、(株)ハマキョウレックス、(株)日新、安田倉庫(株)
卸 売 業 ・ 小 売 業	キャンノンマーケティングジャパン(株)、(株)スズキ自販静岡、(株)ゾフ、ダイワボウ情報システム(株)、ダイキンHVACソリューション東海(株)、ダイドー(株)、トヨタカラー静岡(株)、トヨタモビリティーパーツ(株)、トヨタユニテッド静岡(株)、(株)ノジマ、(株)メガネトップ、(株)遠鉄百貨店、(株)杏林堂薬局、静岡日産自動車(株)、鈴与商事(株)、浜松日産自動車(株)、(株)良品計画 その他
金 融 業 ・ 保 険 業	(株)静岡銀行、(株)清水銀行、スルガ銀行(株)、(株)北陸銀行、三井住友信託銀行(株)、(株)十六銀行、(株)三十三銀行、(株)百五銀行、楽天銀行(株)、島田掛川信用金庫、敦賀信用金庫、浜松いわた信用金庫、富士信用金庫、三島信用金庫、静岡県労働金庫、ソニー生命保険(株)、東京海上日動火災保険(株)、日本生命保険(相)、三井住友海上火災保険(株)、静岡ティーエム証券(株)、野村證券(株)、沖縄振興開発金融公庫、静岡県信用農業協同組合連合会、静岡ビジネスクリエイト(株)、全国共済農業協同組合連合会静岡県本部、東海東京フィナンシャルホールディングス(株) その他
不 動 産 業 ・ 物 品 賃 貸 業	JA三井リース(株)、パーク24(株)、静銀リース(株)、積水ハウス不動産中部(株)、(株)東急コミュニティー、東京メトロ都市開発(株) その他
学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	(株)セプテーニ、(株)マネジメントソリューションズ、あおい税理士法人、静銀モーゲージサービス(株)、税理士法人山田&パートナーズ、(株)豊田中央研究所、(株)博報堂プロダクツ、有限責任監査法人トーマツ その他
宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	(株)プレナス、リゾートトラスト(株)、日本マクドナルドホールディングス(株) その他
生活関連サービス業・娯楽業	(株)ベストプライダル その他
サ ー ビ ス 業 (他に分類されないもの)	(株)NTTデータマネージメントサービス、(株)ジェイエイシーリクルートメント、パーソルテンプスタッフ(株)、(株)パソナグループ、(株)さなる、静岡県中小企業団体中央会、(学)新静岡学園、(学)常葉大学、日総工産(株)、日本年金機構、横浜市社会事業協会 その他
公 務 員	国税庁、国税庁東京国税局、国税庁名古屋国税局、静岡県、福井県、静岡県、三島市、沼津市、富士市、焼津市、函南町、長泉町、茅ヶ崎市、名古屋市、津市
進 学	静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科、大阪大学大学院国際公共政策研究科、愛知大学大学院経営学研究科

卒業生の声

思い出、知識、将来の
視野を増やす貴重な時間

私は現在、静岡県庁の健康福祉部 疾病対策課 難病対策班というところで働いています。私の班では主に、治療法が確立されていない指定難病の患者に対する医療費の助成を行っています。本庁業務の中では珍しく、県民の方と直接話したり、やり取りをする機会が多い課です。県民の方だけでなく、各市町の職員、医師や看護師等、日々様々な職種の方と関わる事が多く、毎日たくさんの刺激を受けています。行政職として働いており、今は医療の分野に携わっていますが、今後はまた別の分野の課に配属されるため、非常に幅広い知識を習得できる職場です。様々な分野を学ぶという点は、大学の勉強と通じるものがあると考えます。多くの分野に触れることができるととても良い時間になると思うので、たくさん思い出と知識を増やせるよう、是非大学生活を楽しんでください。



静岡県庁 勤務

山下 麻里奈さん

卒業生の声

大学時代の努力が
将来につながります

私は現在、東京国税局が管轄する税務署で勤務しています。納税者の申告が正しく行われているのかを調査するため、納税者の元へ訪問し、総勘定元帳、請求書などの書類を調べ、不正の端緒を発見しています。今の仕事はとてもやりがいがあり、楽しいです。就活を振り返ると、働く自分を具体的に想像することが重要だと思います。志望先に就職できても、配属される部門によって仕事内容は異なるため、希望しない部署に配属された際に「こんなはずじゃなかった」とならないよう、働くイメージを明確に持ちましょう。どの部署でも前向きに頑張れる就職先を見つけることが理想ですが、すぐには見つかりません。1・2年生のうちから方向性を考えることが大切です。最後の学生生活なので、楽しみつつも将来のことを常にかけておきましょう。当時努力したことが今の自分を支えていると実感しています。



東京国税局 勤務

北島 大空さん



教員紹介

日々議論し合い、
教育と研究にチームワークを発揮する

本学部には、経営、総合政策、情報、数理、観光の各分野から多彩な教員が集まっています。言い換えれば、それだけ多彩なゼミナールが開講されているわけです。きっと、あなたの興味を引くゼミナールがあるはずです。教員は、学生への教育に関して日々議論し合い、研究に関しては様々なプロジェクトを通じてチームワークを発揮しています。また、積極的な社会活動を通じて地域社会に貢献すべく、努力しています。

FACULTY MEMBERS

講師 天野 政紀 Amano Masanori 主な科目：離散数学、数理情報特論 専門分野：図数論、複素解析学 研究テーマ：タイヒミュラー空間論	准教授 天野 ゆかり Amano Yukari 主な科目：医療介護政策論、医療介護政策特論 専門分野：介護福祉論、臨床倫理、医療介護人材 研究テーマ：アジアにおける高齢者ケア、外国人介護人材の育成、在宅医療と介護の倫理	准教授 カウクルアムアムナー Khaokhruamnuang Amnaji 主な科目：観光マネジメント、国際観光 専門分野：観光科学、観光発展、観光計画 研究テーマ：農村観光発展、観光における茶文化の商品化	准教授 井本 智明 Inoto Tomoaki 主な科目：経営工学、経営数学特論 専門分野：数理統計学、確率分布論 研究テーマ：幾何多様体上の確率分布の構成とその推定
教授 岩崎 邦彦 Iwasaki Kunihiko 主な科目：マーケティングI、マーケティング特論 専門分野：マーケティング 研究テーマ：地域に関連するマーケティング課題の研究	教授 上野 雄史 Ueno Takefumi 主な科目：会計学総論、企業評価特論 専門分野：財務会計、経営分析、国際会計 研究テーマ：保険会社の金融規制、サステナビリティ開示とその有用性、AIが会計専門職に与える影響分析	准教授 上原 克仁 Uehara Katsuhito 主な科目：人的資源管理論、人的資源管理特論 専門分野：人的資源管理論、人事経済学、労働経済学 研究テーマ：内部労働市場の機能と人事制度の効果に関する実証研究	教授 内海 佐和子 Utsumi Sawako 主な科目：観光まちづくり論、地域創生論 専門分野：建築計画、都市計画 研究テーマ：世界遺産に対する観光地化の影響、観光地化に伴う景観変容
教授 大久保 あかね Okubo Akane 主な科目：観光調査法、観光情報システム 専門分野：観光学 研究テーマ：観光をキーワードとした地域振興	准教授 大久保 誠也 Okubo Seiya 主な科目：情報セキュリティ、情報セキュリティ特論 専門分野：暗号、量子計算、ゲーム情報学 研究テーマ：量子計算と暗号の安全性、不完全情報ゲームの解析とアルゴリズム	講師 沖本 まどか Okimoto Madoka 主な科目：ミクロ経済学、ミクロ経済学特論 専門分野：国際貿易論(理論研究) 研究テーマ：機器セグメンテーション、経済成長と国際食料価格	助教 小田 紘久 Oda Hirohisa 主な科目：情報科学概論、情報理論 専門分野：医用画像処理、コンピュータビジョン 研究テーマ：臓器セグメンテーション、コンピュータ診断支援

最新の教員情報につきましては、
学部Webサイト(<https://mi.u-shizuoka-ken.ac.jp/>)
をご覧ください。

草薙キャンパス

絶好のロケーションを誇る、静岡県文化教育ゾーンの中核拠点

静かな教育・研究環境、それでいて交通利便のロケーション。富士山の勇姿を眺めながら学べるなんて贅沢の極みです。実は、静岡県立大学は、静岡県文化教育ゾーン（県立図書館、県立美術館等の集積地域）の中にあります。さらに、交通の便がとてよく、ところに立地しています。例えば、最寄駅（JR草薙駅、静鉄草薙駅、静鉄県立美術館前駅。いずれも徒歩10～15分程度）から静岡市中心街へも清水区中心街へもJR東海道本線で約7分、静岡鉄道で約10分です。静岡からは、東京へも名古屋へも新幹

線なら1時間。首都圏での就職活動の際も楽々日帰りできます。また、本学に来た人は、誰もが口をそろえて「綺麗なキャンパスですね」と言います。レンガ造りの落ちついた雰囲気から、映画のロケ地にも選ばれるほど整ったキャンパスです。キレイだけでなく、雨に濡れずにほとんど全ての施設へ移動できる優れた建物群に、充実した学習設備や、快適な大学生活を支える福利厚生施設を用意しています。

経営情報学部棟

ユニバーシティプラザの一番上の左手の棟が経営情報学部棟です。棟の中には、講義室、コンピュータ実習室、遠隔講義室などがあります。遠隔講義室に導入されている遠隔講義システムは、音声と最大4つの映像を双方向で送受信できる優れたもので、本学部の教員がシステムの設計を行いました。浜松市の静岡文化芸術大学にも同様な遠隔講義システムを設置しており、両拠点間で遠隔講義が行えます。また、経営情報学部棟の天井は自動開閉式になっていて、天気の良い日には、気持ちよい風が入ってきます。



1 学生ホール

1Fに食堂、2Fに購買と書店があります。天気の良い日には富士山がきれいに見えます。購買では話題の？県大グッズも販売しています。



2 附属図書館・講堂

コミュニティプラザ右手には、大講堂（902席）、小講堂（230席）と、38万冊の蔵書を誇る附属図書館があります。



3 アリーナ

バレー、バスケットなどに利用できる多目的な運動スペースです。空から見ると、8つの頂点を持つユニークな星型をしています。アリーナの隣には、トラック、サッカー、ラグビー、野球の施設を持つ多目的なグラウンドが整備されています。



4 ユニバーシティプラザ

正門をくぐり、スロープ状になっている細長い広場がユニバーシティプラザです。各学部棟は、この両側に建っています。スロープを登りきったところにモニュメントがあり、その奥が食堂や図書館のあるコミュニティプラザです。



OPEN オープンキャンパス CAMPUS

経営情報学部をもっと知りたい！
体験したい！

2025
8/6 水 7月頃
申込受付期間

毎年8月に経営情報学部のオープンキャンパスを開催しています。例年、在学生によるプレゼンテーション（学生生活、勉学の方法、ゼミの紹介、キャリア選択について）、体験授業、キャンパスツアー、在学生との懇談会など豊富なメニューで行っています。参加者に本学部の特色と魅力を理解してもらう良い機会となっています。

詳しくはwebで！ 過去のオープンキャンパスの様子も掲載
<https://mi.u-shizuoka-ken.ac.jp/cont/kodai>

